

第5号様式（第6条関係）

土棚小学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第3回 土棚小学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和7年2月18日（火）		
開 催 時 間	10時25分～12時20分		
開 催 場 所	綾瀬市立土棚小学校 第1会議室		
議 長	会 長 藤原 百合子		
出 席 者	会 長 藤原 百合子 委 員 鈴木 弘之、吉川 豊人、伊藤 正貴 校 長 永益 弘之 教 頭 （委員） 中村 昌善 総括教諭（委員） 川島 詩穂、高橋 一美 賀澤 勇介、大石 麻里子		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0
会 議 の 内 容			
【議題】 1 学校評価について 2 質疑応答 ※議題前に音楽クラブ練習参観・授業参観			
【主な意見・決定事項など】 （「学校評価」をうけて、学校運営協議会委員より） ・学級の人数も少なく、とても落ち着いている。先生と子どもたちとの会話のキャッチボールがよくできているので、学校生活の中で学習をしたり困ったりした時に、一人でやってしまえばよいという考えが少ないのも当然のことに思える。担任だけでなくいろいろな先生で見ている、学校が楽しく送れるようにしている。しかし、その中でも1人2人馴染めていないように思われる児童もいるので、学習に向き合う姿勢が見られるようになるとうい。 ・学校が楽しくないと感じている児童もいるので、「ありがとう」「頑張ったね」とたくさん声をかけて、自己肯定感を高めるようにしていきたい。 ・縦割り活動はずっと前からの伝統で、みんなで遊ぶことはとてもよい。兄弟が少なくなってきたので違う年齢の友達と遊ぶことができるよい機会になっている。 ・いじめの早期発見・再発防止のための取組については、学校に対する評価が厳しい。校内体制や情報のあげ方等を工夫していき、学校での取組			

を理解してもらえようにしていく。また、学校だより等でいじめに対する資料を載せるなどし、その時だけでなくアンケートを取るときにもう一度見返すことで、保護者もまた考えるきっかけになるのではないかなと思う。

- ・保護者の「分からない」の回答が多いので、保護者が学校に来る機会を多く設けたい。PTA活動をする、学校に来る機会も増え、先生とのコミュニケーションも取れ、子どもとの会話も増える。また、保護者間でも情報共有ができる。学校との関わりをもち知ろうとすることで、授業参観・懇談会の参加率も上がるのではないかな。家庭と学校の両方からの関わりを増やしていくことで、「分からない」という回答が減っていくとよいと思う。
- ・学校からの便り等、年齢が上がるにつれて出さなくなってしまうので、ICTを上手く活用していったらよい。
- ・運営組織については、コミュニケーションを十分に取り孤立感を生まず、教職員全員で同じ方向に向かっていけるとよい。

・本年度の事業

- クラブ活動での「ものづくり体験」
- 学校の校地内の花壇づくり及び世話
- プール遮光ネットの取り付け作業
- 学区の合同パトロール
- 休日の校庭開放

・不登校懇談会

- 「ふいーか」と健全育成会の方向性が同じ
→来年度、南部ふれあい会館
再来年度、綾南小・土棚小で実施予定

・事業報告を職員会議で周知

・第2回学校運営協議会は総括教諭だけでなく、全職員参加

【配付資料】

- ・「第3回学校運営協議会」レジュメ
- ・学校評価報告書
- ・土棚小学校コミュニティスクールだより
- ・地域学校協働活動事業実績報告書

次回開催予定

令和7年6月予定